

SDGs 社会的インパクト評価実証プロジェクト事業

■ 具体的使途（経費内訳）

交付対象事業	経費内訳、交付金充当額
(1) かながわ版SDGs 金融フレームワークの推進 (5,076千円)	ア かながわ版SDGs 金融フレームワーク（委託料）4,730千円 SDGs 経営の入口支援である中小企業伴走型支援と、より発展的なSDGs の見える化の取組であるインパクト評価の両方の仕組みを金融機関で活用し、SDGs に関する金融商品やサービスの組成を行うことで、県内金融機関等がSDGs 経営に向けた取引先支援を実施する環境を整備する。 イ かながわSDGs パートナー制度の展開（委託料、需用費等）346千円 登録企業が参加するミーティングやワークショップを開催することで、SDGs に取り組む企業同士のつながりをつくり、SDGs に資する新たな事業の創出や企業のSDGs 経営、新たな資金調達の後押しをする。
(2) SDGs アクションの推進 (2,936千円)	ア パートナリシップの強化（報償費、需用費、委託料、使用料等）1,671千円 自治体や民間団体等、多様なステークホルダーに対してSDGs の取組事例等の情報を共有し、連携を促進することにより、SDGs アクションを促し、SDGs 金融拡大に向けた素地づくりに取り組む。 イ 国際的な情報発信（役務費、使用料等）1,038千円 国連機関等とのつながりが豊富な本県のアドバンテージを活用し、国内外に向けて神奈川のSDGs の取組を発信する。 ウ 共助の輪による支援の仕組みづくり（委託料、需用費等）277千円 新たに表出した社会的課題を解決するため、SDGs の理念に沿って、かながわSDGs パートナーをはじめとした多様な主体とのパートナーシップにより、県民の具体的なSDGs アクションを創出し、共助の輪による支援の仕組みづくりを加速化する。
(3) 次世代・ジェンダーの取組 (341千円)	ア 次世代・女性の活躍支援（需用費、委託料、使用料等）341千円 SDGs に馴染みのあるいわゆる「Z世代」の活動を後押しするため、SDGs に取り組む次世代と、かながわSDGs パートナー企業とのマッチングを図る。
(4) SDGs つながりポイントの自走化に向けた展開 (3,572千円)	ア SDGs つながりポイントの自走化に向けた展開（委託料、需用費等）3,572千円 県民一人ひとりが地域の社会的課題解決に取り組むことで、地域における「つながり」を生み出し、SDGs の自分事化を後押しする「SDGs つながりポイント」を市町村等と連携して推進する。

SDGs 社会的インパクト評価実証プロジェクト事業

■ 実施体制



名称	役割
県	• かながわSDGs パートナー制度の運用、パートナーミーティングの企画・運営 • かながわ版SDGs 金融フレームワーク事業の企画・運営 • その他事業（かながわSDGs つながりポイント事業、次世代・ジェンダー活躍支援、共助の輪の拡大事業の推進）
かながわSDGs パートナー	• SDGs に資する新たな事業の創出やSDGs 経営によるSDGs の推進 • パートナー間における連携や県との連携によるSDGs アクションの創出 • フードドライブ、子ども食堂支援等、共助の輪の拡大
地域金融機関等	• 中小企業に対するかながわSDGs パートナー制度等の周知 • 金融商品等を通じた地域の中小企業に向けたSDGs 経営の支援